

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	・お花見などの行楽、イベント、その他で、ビールやソフトドリンク、揚げ物類が売れるとみている。
		スナック（経営者）	・悪くなる要因がなく、好調のまま行くのではないかと。
		商店街（代表者）	・昔のように景気が良いから売れるという時代ではない。余分な物はあまり売れないが、要るものだけは必ず買ってくれる。当店もお陰様で、学校で必要な物だけは、きちんと売れているので、その点とても助かっている。
		商店街（代表者）	・今年1年は大河ドラマ放映のあった前年の半分以下になるだろうが、放映前の実績は上回りそうである。
		コンビニ（経営者）	・今までの傾向からみて気温の上昇とともに、売行きが伸びると判断している。
		コンビニ（経営者）	・例年の客の動きからみて、夏に向かって、行楽や外出が多くなるため、来客数が増えると考えている。
		コンビニ（経営者）	・都心部の景気が良いということもあり、今月、市議会議員選挙、市長選挙が行われることも踏まえて、少し上向きになってもらいたいという期待を込めての回答である。
		コンビニ（経営者）	・店舗前の道路の交通量は増えているので、期待を込めてやや良くなる。ただし、客単価はなかなか上がってこないのので、来客数で売上を伸ばしていきたい。
		コンビニ（店長）	・今月は予想よりも来客数が伸びず、たばこの一部商品値上がりに伴う月末の仮需要に期待したが、31日正午現在、不発に終わりそうで、あまり良くない結果となりそうである。3か月後は、少なくとも今より良い状態を望んでいる。
		乗用車販売店（経営者）	・今までの不景気で自動車の保有年数が長くなっているのので、自動ブレーキなどの安全装置の付いた車の購入を希望する人が増えるのではないかと。
		一般レストラン（経営者）	・客の動きは多少活発になっているので、この先、飲酒を伴う会食につなげられることを期待している。
		一般レストラン（経営者）	・前年は大河ドラマの影響もあり、観光シーズンに向け予約も増えていたが、今年はそんなこともないので、今よりは良くなると思うものの、それほど伸びはない。
		一般レストラン（経営者）	・気候も暖かくなり、4月は町内の春祭りイベント、5月の大型連休を踏まえ、例年の伸びを期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・前年実績を売上ベースで達成している。また、近隣体育館のオープンに絡んで、需要増が見込まれる。
		旅行代理店（所長）	・いよいよ来月から大型観光キャンペーンの初年度が始まるため、やや良くなる。
		通信会社（営業担当）	・物件の入替えや異動時期と重なり、消費の高まる可能性がある。
		テーマパーク（職員）	・私鉄の新型特急や新駅の開業、SLの運行を始め、プレ大型観光キャンペーンなど明るい話題が多くあるため、期待できる。
		観光名所（職員）	・数か月後から始まる街を挙げての大型イベントや、鉄道会社のキャンペーンといった特需もあり、来客増に期待している。
		ゴルフ場（経営者）	・地方創生の影響もあり、地域が活性化してきている。
		その他サービス[葬祭業]（経営者）	・医師から「そろそろ危ない」と言われ、相談に来る人が増えている。
	その他サービス[自動車整備業]（経営者）	・車検対象車の拡大傾向はしばらく続くと期待している。	
	その他サービス[貸切バス]（経営者）	・春の旅行シーズンに入るため、やや良くなる。	
	商店街（代表者）	・商店街に人が歩いていない。店には客がいないため、店内は寂しい。	
	一般小売店[精肉]（経営者）	・花が咲き、新緑も出てくる。季節は人々を元気にしてくれる。地元の行事や観光に出掛ける人も多くなるが、まだ明るい気配はない。	
	一般小売店[家電]（経営者）	・相変わらず、個人消費は必要にせまられてという買い方なので、よほどの要因がない限り、売上増に結び付けるのは厳しい。	
	一般小売店[家電]（経営者）	・正直なところ、先行きが見えない。	
	百貨店（営業担当）	・食品や化粧品などの消耗品は堅調に推移するだろうが、衣料品部門はまだ低下の一途であり、店全体として見れば2～3か月先も変わらない状況が続く。	
	百貨店（販売促進担当）	・婦人アパレルの不調を化粧品や雑貨、食品物産展などが支えるという構図は継続するとみている。景気回復の材料は見当たらない。	

百貨店（店長）	・この春は天候には恵まれているが、売上は前年割れが続いている。秋から言われていることだが、衣料品の売上は悪く、ここに来てさらに客単価が下がっている。
百貨店（店長）	・駅周辺の客の流れが少ない。
スーパー（経営者）	・これといった変化はみられない。
スーパー（総務担当）	・しばらくは前年の90%の状況が続くのではないかと。来客数が増えてこないのが厳しい。プレミアムフライデーも来客数の上がる要因にはなっていない。
スーパー（統括）	・電気料金の値上げや為替変動等による輸入原材料の値上げが予測される。可処分所得の上昇は望めないため、余分なものは買わない傾向は、しばらく続く。
スーパー（商品部担当）	・景気が良くなるとは考えにくく、来客数減少分を単価上昇により補って現状維持が出来ればよいと考えている。また、人手不足により手間をかけることが難しくなっており、商品力が下がっている状況である。
スーパー（副店長）	・与件の変化はないが、来客数の前年割れがずっと続いており、本来ならやや悪くなると思うが、最低でも現状は維持したいと考えているため、変わらないとしている。
コンビニ（店長）	・近隣で工事があり、交通の流れが若干変わってきている影響で、来客数などが多少落ち込んでいるが、まだ工事は続くため、あまり変わらない。
衣料品専門店（統括）	・現状、大半の客の動きは悪い。なかなか例年並みまで回復してこない。イベントを行っても、人は多少出るが、売上につながらない。
衣料品専門店（販売担当）	・3月の異動時期にこれほど客の動きがない状況のなかで、今後、暖かくなれば良くなるという期待感はあるものの、それ以上に客が動かない。購買意欲がないのか、何か不安材料が多いのか、本当に人の動きがないというのが社会現象化しているようで、店を続けられるかどうかという不安も出てきている。
乗用車販売店（経営者）	・6月は前年に比べて車検対象者が多く、サービス部門が忙しいと予想している。
乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、輸出が好調で大変忙しく、地域経済にとっては嬉しいが、末端にはなかなか経済効果が及ばないので、今一つ喜べない。
乗用車販売店（販売担当）	・来客数が増えているのは確かだが、車は3月が一番の繁忙期で、これから4～6月とだんだん先細りになっていくので、良くなるとは思わない。変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・観光地を控えているので、例年だと5月の連休辺りが良くなるが、3～6月と、これといった特別なイベント等がなければ良くなる要素がないので、この低い状況のまま行くのではないかと。
乗用車販売店（管理担当）	・依然、消費の低迷が続くとみている。
自動車備品販売店（経営者）	・ここ数年、客の定年や退職等が目立っているため、お金の使い方は緊縮傾向にある。やはりそうした客が、お金を使えるような趣味やムードがあると良い。特に良くなることはないが、今まで以上に自助努力をしていきたい。
住関連専門店（経営者）	・マスコミの景気に対する報道が不安感をおももののがあまりにも多いと感じている。そのため、中小企業経営者が設備投資や社員、パートに対する利益還元をブレーキをかけている部分もあるのではないかと。
住関連専門店（店長）	・来客数は増加傾向であるものの、客単価が前年と同様に推移している。
住関連専門店（仕入担当）	・景況感に今後も大きな抑揚はないとみている。家庭紙や一部食品の価格改定の報道があるが、実勢価格は据置かれると踏んでおり、価格の上昇が売上を底上げするようなことはない。
その他小売[ショッピングセンター]（統括）	・前年を上回る要因としてプレミアムフライデーがあるが、ゴールデンウィークの日並びが決して良いとは言えず、極端に前年から浮き沈みすることはない。
一般レストラン（経営者）	・大企業は言わずとも、地方の中小企業は、なかなか政府の進める地方創生の効果が表れない。
一般レストラン（経営者）	・天候や地元首長選挙の結果次第といったところだが、景気が良くなる要素も悪くなる要素も見出せない。強いて言えば、地元製造業が米国の新大統領の政策に悪影響を受けないか心配である。
スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、正直な話、明日のことが分からない状態で、2～3か月先のことは、もっと読めない。毎年のことだが、これ以上悪くならないように、変わらないで欲しいと希望を込めて回答している。

観光型旅館（経営者）	・前年は大河ドラマの影響で春の売上が多かった。今年は大河ドラマほどではないが、鉄道会社のディスティネーションキャンペーンや、旅行会社のキャンペーンなどもあるため、前年並みは維持できるのではないかと期待している。
都市型ホテル（営業担当）	・現在の動き等から、4月は多少需要もあり、上がってくると思うが、例年並みと考えている。その後も3か月先くらいまで、特別大きく良くなる要素もないので、例年どおりで変わらない。
都市型ホテル（副支配人）	・4～5月のインパウンド予約はかなり多く、催行の有無によって売上が左右されてしまうのが懸念される。
旅行代理店（経営者）	・収入の増えている業種が、一部に限定されている。
旅行代理店（従業員）	・世の中の状況が全く良くならない。
旅行代理店（副支店長）	・この先大きな動きや受注はないようである。この時期は年度初めのため旅行相談や受注も少なく、例年と変わらない。ただし、今年はゴールデンウィーク期間が長いので、国内、海外旅行に動きが出ている。また、格安旅行代理店の破産が報じられており、今後、客のエージェント離れが懸念される。
タクシー運転手	・前月は前年比105%、今月も現状106～107%で落ち着きそうである。それほど変化はない。
タクシー（経営者）	・夜の客の動きが良くないので、この先も変わらないとみている。
タクシー（役員）	・ドライバーの確保ができない。
通信会社（経営者）	・高齢化と人口減で客が年々減っていくことを考えると、老朽化している設備に投資してよいのかどうか考えざるを得ない。一億総格差社会を推進するような政策ばかりで、先行きが本当に不安である。
通信会社（経営者）	・地方の景気はあまり良いとは言えない。節約意識が強く、趣向的なものにお金を出さなくなってきた。
ゴルフ場（支配人）	・新年度と暖かな春を迎える雰囲気にはなっていないが、気候の好転に期待する。上旬は異動時期にあたるため、平日予約は少ない。
ゴルフ場（総務部長）	・大口コンペの開催予定は例年どおりで、新規の大口コンペはないので変わらない。
競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪レースの売上は、ほぼ横ばいで推移している。
美容室（経営者）	・4月から電気代、水道代、ガソリン価格等も上昇すると報道されており、節約する人が増えている。天候不順で寒い日が続いているため、高齢者が動かない状況が続いていることが気掛かりである。
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・近々大型店がオープンする予定であるが、オープン時の一時的な売上は、その他の部分は例年と変わらない。
その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・国内外の経済が安定しないため。
設計事務所（経営者）	・計画物件が少なく、人数に応じた仕事量がない。
設計事務所（所長）	・年度初めにかけては、今の状況が続く。
住宅販売会社（従業員）	・別荘の売却希望者が購入希望者を大幅に上回っている。
住宅販売会社（経営者）	・減税政策もなく、住宅ローン金利が上昇傾向にあるため、動きがこう着化していることに変わりはない。
商店街（代表者）	・物販の路面店は厳しい日が続いている。さらに大型店の出店話も出てきている。零細な路面店は、ますます苦境に立たされ、悪くなる一方である。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	・栃木県で初めての「ツール・ド・とちぎ」という自転車レースを朝の9時半くらいからやっている。スタッフとして、交通整理に出ていたところ、観光客はたくさん来ていた。皆がいるんところで買物すれば良いが、そういう風にはならないので、なかなか難しい。
一般小売店〔乳業〕（経営者）	・高齢者世帯の消費意欲は、まだ下がるとみている。
コンビニ（経営者）	・店のイベントが少なくなっているため、あまり良くない。
コンビニ（経営者）	・近隣の会社の業績が悪い。
自動車備品販売店（経営者）	・消費税増税のカウントダウンが始まっている。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注残が減少してきている。前年と比べても減少傾向である。
都市型ホテル（営業）	・5月の連休等もあり、宿泊はやや低調になる。
タクシー運転手	・4月は歓迎会などがあり、少しは動くと思うが、それ以降はまた暇になりそうな気がする。
通信会社（店長）	・販売を押し上げる商材が少ない。
通信会社（局長）	・国会が本筋と関係ないところで空転してしまっている。

	設計事務所（所長）	・まとまった仕事の受注話がない。
	家電量販店（店長）	・売上を支える商材がないのが現状である。テレビの4K、8Kの方向性が早くはっきりして、商売ベースになって欲しい。省エネ家電の購入に対するインセンティブの企画がなされて客の購買意欲を喚起して欲しい。
	通信会社（経営者）	・そろそろ廃業、自己破産を念頭に置いて動かねばならない。
	美容室（経営者）	・チラシをまいてみたが、前年に比べて客の来店や問い合わせ件数等の反応は、今一つ鈍い。残業手当が出ない会社は多岐に渡っている。
企業 動向 関連 (北関東)	輸送用機械器具製造業（経営者）	・北米向け輸出の増加で良くなる。
	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・自社開発の太陽光発電設備の稼働発電数が4.7メガを超えている。月々の売電が、本業2つの環境装置売上を超えてきている。
	食料品製造業（営業統括）	・英国でのワインプロモーション活動や県産ワインの高品質化、また、消費拡大に向けた事業推進と官学の積極的な支援もあって、今後の伸びが期待できる。
	金属製品製造業（経営者）	・得意先からの受注予定はあるので、それが実現すればよい。実際には、その時にならないと分からない。
	金属製品製造業（経営者）	・ここ数年と比べて、新年度4月の注文はやや多い。
	一般機械器具製造業（経営者）	・新規開拓案件が何件か立ち上がり、従来の仕事も回復傾向にあることから、売上のベースを固めながら数字の上振れが期待できる。
	電気機械器具製造業（経営者）	・希望的観測だが、受注残などをみると、前年よりは多少改善されてきたような気がする。動き全般は少ないが、ムード的にも増産傾向にあるようである。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この1～2年のなかで、今年の1～3月が一番低調だった。4月以降の2～3か月は、若干ではあるが、取引先等の様子を聞いても明るそうである。
	輸送業（営業担当）	・今後は季節替わりにより、エアコン、扇風機などの家電や、夏物衣類等の輸送量は前年並みを確保できそうである。また、大手宅配便等の配送事業の問題も表に出て、業界の現状が理解されつつもあり、いくつかの取引先とは運賃値上げ交渉の方向になりそうな状況である。
	食料品製造業（経営者）	・大きな変動要因が見当たらないので、変わらない。
	食料品製造業（製造担当）	・スーパーが淘汰されるなか、いまだ新規出店の話が出てきており、また客の取り合いになるのではないかと。客が分散して売上は減少し、再び店の体力勝負の持久戦になり、お互いに消耗するだけになりそうである。
	化学工業（経営者）	・この先の受注、引き合い状況から予想すると良い方向に向かうとは考えにくい。現状の推移を想定している。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新商品展開も予想が付き、ゴールデンウィークや夏場の工芸教室に期待している。
	電気機械器具製造業（経営者）	・相変わらず、安定した仕事の確保は難しい。先行きは不安である。
	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移すると考える。
	建設業（開発担当）	・公共工事が95%を占めている建設業だが、今期は公共工事が前年比96%で、当社のような地方業者が一番受注に影響を受ける市町村の発注額は前年比79%と大変厳しく、当社の受注額も前年比15%減と大変な状況である。今期決算が厳しい。
	通信業（経営者）	・前月は単発の大きな仕事が入ったので、現在の景気はやや良くなっていると回答しているが、景気全体を見るとさほど変わっていない。
	金融業（調査担当）	・企業の慎重姿勢が続くとみられる。製造業は半導体関連の一部業種では好調が予想されるが、その他では横ばい状況が続く。非製造業では観光イベントの一段落から横ばいの動きが予想される。
	金融業（経営企画担当）	・海外の景気動向が順調に回復に向かうのか、現状では判断できない。米国の新大統領の政策に対して、不確実性が出てきていることや、原油安、円高等の外部要因により、国内景気も悪化する可能性がある。
	不動産業（管理担当）	・入札も例年並みの量、金額で受注できる見込みである。今のところ特に大きな売上を占める業務からの撤退の話や新規受注もなさそうなので、横ばいの見通しである。ただし、退職者の補充が集まらず苦勞しており、人件費次第で利益の上下がありそうである。

	新聞販売店 [広告] (総務担当)	・ 4 月の定期昇給時期が近付いているが、中小企業、商店等では、今年は上げられないとの話を聞く。大型店でも、前年を下回るかもしれない、とのことである。
	経営コンサルタント	・ 雇用がひっ迫しているなかで、個人所得の伸び次第と思われるが、行楽シーズンを迎えるため、例年より消費を促す要因が出てくれば期待が持てる。
	司法書士	・ 大きく分けると過疎地域に入るので、そのせいなのか、大きく前進というような雰囲気はない。
	社会保険労務士	・ 久しぶりに新卒採用をする事業所があるが、忙しいからではなく、従業員の年齢構成から増やすようである。
	その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	・ 引き合い、商談件数、受注残共に特段変化はみられない。
	窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・ 新年度を迎えて 2 ～ 3 か月は、動きがなくなる。
	電気機械器具製造業 (営業担当)	・ 6 月以降の受注が不透明である。
	建設業 (総務担当)	・ 今の反動もあると思うが、民間はともかく公共の第 1 四半期の発注予定件数は少なく、全く期待できない。
	不動産業 (経営者)	・ 社会基盤につながる産業へうまく資金が流れていないようなので、経済の弱体化が予想される。
	広告代理店 (営業担当)	・ 毎年、春から夏にかけては販促活動が停滞する。これと違って大きなトピックもないので、変わらない。
×	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・ 3 月はいつもより忙しかったが、支払などのたまったものがあるので、相変わらず大変である。
×	電気機械器具製造業 (経営者)	・ 主要取引先の動向は、5 月にならないと計画が決まらず、現状、上向き情報がないようである。
×	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	・ 春先になっているいろいろなイベントが催されるものの、集客に不安が残っている。今年になって前年と比べて良い数字が出ていないことから、先行きに不安を感じる。
雇用 関連	-	-
(北関東)	職業安定所 (職員)	・ 求人が増加している。製造業が徐々に上向いている。
	人材派遣会社 (経営者)	・ ガソリン、灯油等据置かれているたばこなども、この 4 月からは値上がりするだろうし、それに便乗して生鮮食品等も値上がりするとみている。全体的な売上は伸びていくと予測されるが、買い控えが根底にあるので、一進一退ではないか。製造業等は、自動車、電機、電子等は、堅調に推移し、住宅、公共事業等は引き続きという状況である。
	人材派遣会社 (管理担当)	・ 年度が変わるので、食品、修理等派遣求人数の伸びる派遣と製造派遣等の求人が伸びない業種に分かれるものの、変化はない。
	人材派遣会社 (営業担当)	・ ベースアップの話が少ない。
	求人情報誌製作会社 (経営者)	・ 当面、人手不足が続き、この先も採用は期待できない。
	職業安定所 (職員)	・ 新規求人数は増加に転じたが、前年同月比で増減を繰り返しており、景気が良くなるとは感じられない。
	学校 [専門学校] (副校長)	・ 相変わらず求人職種の偏りがあり、全体的に景気が底上げされているとは考えにくい。来月には年度が切替わり、間接業務の求人が増えてくれば、景気の回復傾向がみられるといえるのではないかと。
	職業安定所 (職員)	・ 前年の 4 月から求人倍率が高水準で推移してきたが、今月に入って低下を見せている。雇用保険受給者も 22 か月ぶりに前年を下回り、人手不足感は強いものの、一部業種での業務の充足や人手不足により経営が悪化し、事業減少する動きもみられ、今後の見通しが懸念される。
×	-	-